

じゃっど

平成14年5月16日

サバイ ディー (ラオス語のあいさつ。朝、昼、夜いつでも使う。) 3月末に1週間ヴィエンチャンに行ってきました。この時期は夜にやさしい雨が降ります。この雨がおいしいマンゴーを育てるといわれています。そして、一番暑い4月になります。4月13,14,15日がお正月でした。日本では、お釈迦様の誕生日に釈尊像に甘茶をかけますが、同じでしょうか。水をかけて今年の厄を祓うという意味らしいのですが、お正月に道を歩くとびしょぬれになります。

今回のラオス訪問の主な目的は、ラオス国でのNGO登録です。1992年の活動開始にあたり、ラオスの保健省(日本の厚生省にあたる)と教育省(日本の文部省)から活動許可をいただいていたのですが、行政が変わり頂いていた許可は失効となりました。昨年4月から申請の手続きを進めてきました。なかなか面倒でしたが、2002年1月22日に外務省から活動許可があり、JICAからの資金で実施する「鉤虫対策プロジェクト」に関してラオス国ヴィエンチャン特別市との契約署名式を5月7日に行うことができました。

藤島さんがラオスに滞在し外務省、保健省、ヴィエンチャン特別市、ヴィエンチャン保健局との間を何度も書類を抱えて動いて1年かかってやっと、ここまでこぎつけました。書類も英語、ラオス語、日本語と必要でした。大変でした。

いよいよ、プロジェクトが始まりますが、日本では思いもつかぬことが起こりそうです。プロジェクトではラオスに滞在して寄生虫対策を実施します。そこで、吉田いつこさんを派遣することにしました。彼女は保健師、元青年海外協力隊であり、タイ国マヒドン大学で国際保健を勉強しています。(マヒドン大学に関しては私の後輩となります。)吉田さんが保健活動、藤島さんが経理と2人で「鉤虫対策プロジェクト」をすすめていきます。

さて、これまで毎年いただいていた国際ボランティア貯金からの寄付を今回は申請いたしませんでした。JICAの活動と両方を抱えて事務処理ができないと考えたからです。2ヶ月毎の“じゃっど”会で話し合っただけで決めました。事務対応の面倒が少ない助成金、寄付金を“じゃっど”会メンバーで探しています。どうぞ、ご協力くださいませ。

恒例の“じゃっど”ツアーは例年通り秋のタットルアン祭りにあわせて行いたいと考えております。9月末ごろに募集いたします。どうぞ、ご参加ください。その他に8月に日本の学校の先生にラオスの活動を見ていただいご指導をいただこうと計画しています。

また、前回の臨時総会でNPO法人の申請が決定しましたので鹿児島県の指導を受けながら、手続きをすすめております。8月の総会に、プロジェクト、NPO法人申請などの経過報告をいたします。ご質問ご意見をどうぞ、ください。また、奇数月の第3火曜日夜7時から8時は、事務局で“じゃっど”会を開いています。ご参加ください。

帖佐 理子

ラオス視察報告

保健師 吉田 いつこ

私は、この度、「鉤虫対策プロジェクト」で、現地に派遣されることになりました。昨年
から現地で活躍している藤島さんと力を合わせて、がんばりたいと思います。よろしくお
願いたします。

途上国での活動は、青年海外協力隊として中米のパナマという国で 2 年間過ごしたこ
とがあり、今回で 2 回目になります。ラオス語はチンブンカンブンで不安もありますが、そ
れよりも、新しい土地での生活にワクワク胸を躍らせています。

実は 3 月の末に、帖佐代表とともに、現地を視察してきました。今回のプロジェクトの
対象になる 4 つの小学校を訪問しました。それらの小学校に、これからトイレを建設する
予定ですが、まだまだトイレどころか、教室の壁や窓が無かったり、床も土が丸出しにな
っていたり……。教室の入り口にはドアがについておらず（資金不足のためつけられな
い）、牛や豚が入ってきて教室に糞をしてしまうとか。ある小学校では、裏に鶏小屋がある
せいか、教室が「ハエの館」と化していました。そこで私たちはコーラを頂いたのですが、
ストローにもコップの中にもハエがうじゃうじゃとたかってしまい、コーラの色だかハエ
の色だかわからないくらい黒くなってしまいました。少々汚いものを食べても平気な私で
すが、ちょっとそのハエの凄まじさにはびっくりしてしまい、コーラを飲み干すことは出
来ませんでした。子供たちは平気なのかしら？ここにトイレを作ると、更にハエが増えて
しまうのではないかと心配です。

今回のプロジェクト名になっている「鉤虫」というのは寄生虫の一種ですが、人の腸に
住みつき、血液を吸って生きています。そのため、鉤虫に感染すると栄養失調や貧血にな
り、成長発達が妨げられます。戦後、日本の子供たちもたくさん感染していたと聞きます。
ラオスでは、学童期の子供の 88.5%が感染していると言われていています。この状況を改善す
るには、駆虫剤を飲んでもらうのはもちろんですが、それよりも大切なことは、トイレを
使用する習慣をつけることなのです。対象地域の村内のトイレ普及率は 50%以下のところ
がほとんどです。どうやってトイレでの排泄習慣をつけてもらうかが課題です。

戦後、日本で急速に衛生状態が良くなったのは、子供たちの健康を心配するお母さんた
ちが衛生改善に力を注いでくださったおかげと聞きます。ラオスでも子供を思う親の思い
は同じはず。ラオスのお母さんたちを何とか動かさないかなと、これから先一年の活動に
思いをはせています。

これからも、現地での活動状況を皆さんにお伝えできればと思っています。たのしみに
しててください。

臨時じゃつど総会の報告

先日ご案内いたしました臨時総会のご報告をいたします。

- ① 開催日時 平成 14 年 2 月 23 日 13:30~15:00
- ② 場所 川内市神田町 11-20 若松記念病院内 第一会議室
- ③ 出席者 38 名

【事務局からのお知らせ】

感謝の気持ちとともに、ご支援ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。

■ **新規会員** (2002年2月～2002年4月) (以下敬称略)

浅井万里子 (串木野市)、中俣順子、山本澄子 (川内市)、吉田いつこ (広島市)、

■ **平成13年度会費** (2002年2月～2002年4月)

田畑福男、橋口知章、中俣順子 (川内市)、河野通子 (出水市)、浅井万里子 (串木野市)、
吉田いつこ (広島市)、鹿島友義(鹿児島市)

■ **平成14年度会費** (2002年2月～2002年4月)

外菌龍子、川田篤子、山本澄子、若松あつ (川内市)、隈元郁子 (始良郡)、小屋一美 (串木野市)、伊東正樹 (日置郡)、中西一仁 (三重県)、

* 2002年2月以前に先払いで納入いただいている皆様

帖佐宗親、福永兼蔵、納光弘 (鹿児島市)、田中律子、神彰男、児玉充敏 (川内市)、鈴木忠夫 (大阪府)、宇田川国男、国田宏、松本貞治、和地平十郎 (東京都)、黒江豊 (日置郡)、宇井豊 (神奈川県)、店網国二 (栃木県)、野口奈佳恵(中国)、岩下光彦(ラオス)

■ **寄付金**(2002年2月～2002年4月)

知識友弘、若松あつ、松永良恵、若松大介、帖佐理子、川内ライオンズクラブ (川内市)、
鹿島友義(鹿児島市)、河野通子(出水市)、吉田いつこ(広島市)、

■ **机、いす募金**(2002年2月～2002年4月)

岩切孔、児玉一文、岩川俊二、浦島博文、庵地紘一、田中英世、本田文男、川畑祐清、新原聖樹、紫尾田翼雄、堂脇善博、林徳郎、有馬隆志、愛甲勝、菱刈昭郎、平ひろのぶ、若松郁子、奥哲也、中園裕子、長尾和夫、知識正昭、内田耕也(川内市)、中西一仁(三重県)

《会費納入のお願い》

平成14年度の会費(平成14年7月～平成15年6月)の納入の時期になりました。

年会費はお一人2000円です。

本年度は、国際ボランティア配分金の申請はしませんでしたので、これまで毎年いただいていた約100万円の寄付金がありません。机いす募金や寄付金へのご協力もお願いします。

新規会員の募集もしています。納入方法は①～③の中からお選び下さい。

- ① 会費自動引き落とし(郵便貯金口座)毎年8月30日引き落とし
- ② 郵便振替 口座番号 02050-2-4746 口座名称 JADDO
- ③ 現金払い(若松記念病院となり寿泉堂内じゃつど事務局)

じゃつど事務局

電話、FAX ; 0996-27-0193

e-mail asianoko@ml.satsuma.ne.jp

鹿児島県川内市神田町11-20 若松記念病院内

会長 帖佐理子 事務担当 宮脇美智子